

予算等事業名	防災訓練・自主防災組織育成事業				所管課	防災安全課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●	●	
事業対象	町民	目的	防災訓練を実施し、住民の防災意識（自助・共助の精神）の向上を図る。				
事業概要	総合防災訓練、自主防災組織訓練の実施						

事業予算											
会計	01	款項目	02	01	11	大事業	防災訓練・自主防災組織育成事業				
		R 5 決算額（千円）		R 6 決算額		R 7 決算額		R 8 決算見込		R 9 事業費	
	直接事業費	252		175		211					
	概算人件費	1,922		1,722		2,439					
トータルコスト		2,174		1,897		2,650		0		0	
国庫/県支出金		0		23		23		0		0	
その他		0		0		0		0		0	
R 7 概算人件費		正規職員		0.46 人			2,439 千円				
		再任用職員		人			千円				
		会計年度任用職員		人			千円				
		その他		人			千円				
		合計					2,439 千円				

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	地域活動に参加している 人の割合【戦略】（％）	計画値	32.0	32.5	33.0	33.5	34.0	34.5
		実績値		25.9	23.3	25.9		
②	自主防災訓練を実施している 地区数【戦略】（地区）	計画値	15	16	17	18	19	20
		実績値		15	14	15		

町民満足度調査結果（令和3年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	防災・災害対策	4.44	3.14
2	町民参画・協働	3.62	2.99
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果 (実績)	従前の課題であった夏季の総合防災訓練を11月に変更して実施した。また、防災への関心が高くない方への啓発として、ふるさとまつりと同時開催で体験型の防災フェアを開催し、多くの来場者を得た。また、地区ごとの自主防災訓練を16回（合同開催、午前午後開催は1回として計上）開催し、地域特性に応じた啓発ができた。
	課題	様々な世帯のうち、特に事前の備えが必要な高齢者や障がい者、幼い子を持つ世帯への啓発を進める必要がある。
今年度	成果 (実績)	総合防災訓練の秋季開催が定着し、地域の負担軽減につながった。また、ふるさとまつりと同時開催した防災フェアでは、防災意識に関わらず多くの来場者を得て、効果的な啓発活動が実施できた。地区の自主防災訓練は18回（合同開催、午前午後開催は1回として計上）実施支援したほか、学校やゆめくらぶ、でんでんむしなど、特に事前の備えが必要な方へ、個別に講演等を実施した。
	課題	地区ごとの防災意識に差があり、訓練を実施しない地区もある。 在宅避難の推進に向けた講演を進めているが、広く浸透させるには時間がかかる。

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	防災施設維持管理経費				所管課	防災安全課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●	●	
事業対象	町民・町	目的	町の防災力の向上及び危機管理体制の強化を図り、災害時における迅速な応急活動に努める。				
事業概要	・防災施設維持管理 ・防災機器の整備拡充						

事業予算							
会計	01	款項目	02	01	11	大事業	防災施設維持管理経費
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額	R 7 決算額	R 8 決算見込	R 9 事業費	
	直接事業費	9,444	9,035	22,456			
	概算人件費	1,741	2,200	2,480			
	トータルコスト	11,185	11,235	24,936	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 7 概算人件費	正規職員	0.54 人		2,480 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			2,480 千円			

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	－	計画値					
		実績値					
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	防災・災害対策	4.44	3.14
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	年間を通じて大きな機器等の故障もなく、平常時は適切に町民への情報伝達を実施できた。
	課題	設備の老朽化が見られる。また、台風接近時や冬季は情報伝達に困難な状況が見られ、緊急度や重要度に合わせた多重的な情報伝達のあり方を引き続き検討する必要がある。
今年度	成果（実績）	年間を通じて大きな機器等の故障もなく、平常時は適切に町民への情報伝達を実施できた。 消防庁舎の大規模改修に伴う資機材の移設についても、問題なく実施できた。 エリアメールを活用した、緊急度や重要度に合わせた多重的な情報伝達に効果があることが確認できた。
	課題	施設の老朽化に伴う修繕料や点検に伴う点検委託料が増加しており、他自治体と事例を参考に、新たな機材への入れ替えなども検討する必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	防災対策経費				所管課	防災安全課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●		
事業対象	町民・町	目的	町の防災力の向上及び危機管理体制の強化を図り、災害時における迅速な応急活動に努める。				
事業概要	・二宮町防災会議の運営 ・防災資機材の整備拡充						

事業予算							
会計	01	款項目	02	01	11	大事業	防災対策経費
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額	R 7 決算額	R 8 決算見込	R 9 事業費	
	直接事業費	1,585	2,045	9,219			
	概算人件費	2,206	2,709	3,077			
	トータルコスト	3,791	4,754	12,296	0	0	
	国庫/県支出金	52	476	2,277	0	0	
	その他	0	0	5,940	0	0	
R 7 概算人件費	正規職員	0.67 人		3,077 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			3,077 千円			

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	－	計画値					
		実績値					
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	防災・災害対策	4.44	3.14
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	備蓄品および職員装備の更新のほか、地域防災計画改定に伴う防災会議の開催を予定通り実施できた。
	課題	災害時の利用を意識した適切な分散配備を検討し、実施する必要がある。また、家庭備蓄の推奨と合わせ、家の耐震化や家具の転倒防止の啓発を、より一層進める必要がある。
今年度	成果（実績）	備蓄品および職員装備の更新のほか、地域防災計画改定に伴う防災会議の開催を予定通り実施できた。実災害を想定した備蓄の分散配備を計画し、その一部を分散配備を実施した。
	課題	大規模地震に備え、どこまで町で備蓄・装備を揃えておくかや、協定締結先との具体的な情報伝達方法や支援のための段取りについて、より詳細にめってしておく必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	災害時応急救護所運営事業				所管課	防災安全課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●	●	
事業対象	町民・医療関係	目的	町の防災力の向上及び危機管理体制の強化を図り、災害時における迅速な応急活動に努める。				
事業概要	・災害時医療対策委員会の運営 ・災害時応急救護所の設営訓練						

事業予算							
会計	01	款項目	02	01	11	大事業	災害時応急救護所運営事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額	R 7 決算額	R 8 決算見込	R 9 事業費	
	直接事業費	635	548	493			
	概算人件費	893	859	1,300			
	トータルコスト	1,528	1,407	1,793	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 7 概算人件費	正規職員	0.25 人		1,300 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			1,300 千円			

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	－	計画値					
		実績値					
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	防災・災害対策	4.44	3.14
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	新型コロナウイルス感染症により実施できていなかった災害時応急救護所の設営訓練を実施し、実災害を想定した医師会などとの連携体制を確認できた。
	課題	災害時医療以外の医師会が関係する訓練（多数遺体対応訓練等）など、実災害を想定し幅広く検討する必要がある。
今年度	成果（実績）	以前から災害時医療対策委員会で懸念事項となっていた多数遺体対応の講義を実施し、災害時医療とは切り離して考えていくべき内容であるという認識の統一がされた。
	課題	大規模災害時に想定される多数傷病者対応について、スピード重視で判断する仕組みについても訓練を実施する必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	自転車等対策事業				所管課	防災安全課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
			●				
事業対象	町民・事業者	目的	二宮駅を中心とした周辺の整備を図り、町の玄関として町民の誰もが誇りに思える駅前空間を実現するため、安全で快適な交通の確保のための計画策定をする。				
事業概要	自転車駐車場維持管理、運営						

事業予算							
会計	01	款項目	02	01	09	大事業	自転車等対策事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額	R 7 決算額	R 8 決算見込	R 9 事業費	
	直接事業費	31,490	32,556	33,941			
	概算人件費	1,072	722	672			
	トータルコスト	32,562	33,278	34,613	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 7 概算人件費	正規職員	0.15 人		672 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			672 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	駐輪場利用台数（台）	計画値	95,632	－	－	－	－	－
		実績値		100,243	100,766	98,542		
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	中心市街地等の整備・誘導	4.08	2.24
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	必要に応じて老朽化したラックを撤去し、増加傾向にある電動自転車の駐車スペースを確保するなど、ニーズに応じた駐輪場運営が実施できた。
	課題	施設の老朽化が進んでいる。125ccバイクや電動自転車の利用者が増えており、収納スペース等の確保や適切な管理方法を検討する必要がある。また、無施錠の自転車の盗難が増えているため、犯罪抑止についても検討する必要がある。
今年度	成果（実績）	毎年増減のあるバイク、電動自転車の駐車スペースを柔軟に変更するなど、ニーズに応じた駐輪場運営が実施できた。
	課題	施設の老朽化とともに、電動自転車利用者の増加など、修繕を必要とする個所が増えてきている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

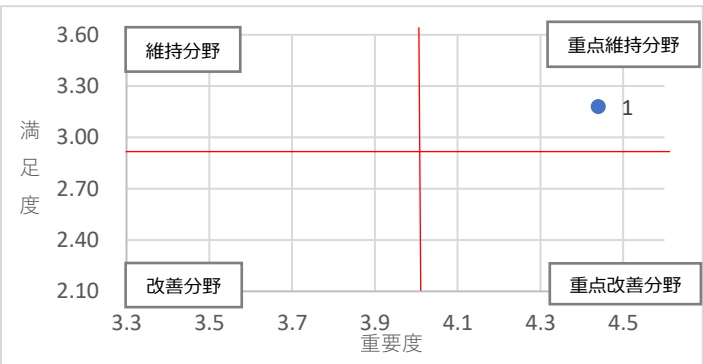
基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	交通安全対策事業				所管課	防災安全課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
				●	●		
事業対象	町民・事業者	目的	町民の交通安全指導の普及高揚を図るとともに、交通安全施設の維持管理を行い、交通事故防止に努める。				
事業概要	・二宮町交通安全対策協議会の運営 ・交通安全思想普及啓発 ・道路反射鏡維持管理						

事業予算							
会計	01	款項目	02	01	09	大事業	交通安全推進事業
		R 5 決算額（千円）		R 6 決算額		R 7 決算額	R 8 決算見込 R 9 事業費
	直接事業費	1,485		1,455		1,322	
	概算人件費	1,208		727		730	
	トータルコスト	2,693		2,182		2,052	0 0
	国庫/県支出金	0		0		0	0 0
	その他	0		0		0	0 0
R 7 概算人件費	正規職員	0.15 人		730 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			730 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	－	計画値						
		実績値						
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	交通安全・防犯体制	4.38	3.18
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	各団体との連携により、効果的な交通安全運動や教室を開催できた。
	課題	町の特徴である高齢者が関係する交通事故への対策を講じる必要がある。 カーブミラーの腐食や劣化が見られる箇所があり、中期的な計画感での改善が必要である。 今後の交通安全協会の動向を見据えた対応策を検討していく必要がある。
今年度	成果（実績）	各団体との連携により、効果的な交通安全運動や教室を開催できた。 特に令和8年4月1日から開始される青切符制度の周知については、交通安全教室や各季のキャンペーン、駐輪場での案内など、広報紙以外でもさまざまな場面で実施できた。
	課題	カーブミラーについては、不要なミラーも散見することから、近隣市町を参考に一定の基準を策定する必要がある。 高齢者が関係する交通事故だけでなく、自転車が関係する事故についても啓発を強化する必要がある。 今後の交通安全協会の動向を見据えた対応策を検討していく必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	防犯対策事業				所管課	防災安全課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
				●	●		
事業対象	町民	目的	町民の防犯意識の普及高揚を図るとともに、防犯施設を整備し犯罪のない明るい街づくりに努める。				
事業概要	・防犯灯維持管理 ・防犯意識の普及啓発						

事業予算							
会計	01	款項目	02	01	09	大事業	防犯対策事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額	R 7 決算額	R 8 決算見込	R 9 事業費	
	直接事業費	19,034	20,024	18,120			
	概算人件費	1,172	974	833			
	トータルコスト	20,206	20,998	18,953	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 7 概算人件費	正規職員	0.19 人		833 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			833 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	防犯灯設置基数（基）	計画値	2,368	—	—	—	—	—
		実績値		2,398	2,399	2,400		
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	交通安全・防犯体制	4.38	3.18
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	各団体との連携により、効果的な防犯活動を実施できた。 防犯灯は風水害の影響による修繕が増えたが、一般的な故障等は少なく、早急に対応することができた。
	課題	防犯活動団体については、団体構成員の高齢化など、活動を継続するうえで新たな人員の確保が問題となっている。 防犯灯の設置について、照度や距離などを定めた具体的な設置基準を設ける必要がある。
今年度	成果（実績）	各団体との連携により、効果的な防犯活動を実施できた。 特に防災行政無線は、特殊詐欺（振り込め詐欺）予防に効果があるため、警察と連携して対応していく。
	課題	各防犯活動団体の高齢化が顕著であり、新たな人員の確保とともに活動内容についても見直しが必要である。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持